

Vol.13

1991年12月20日

学校法人コア学園  
飯田コンピュータ専門学校  
〒395 長野県飯田市松尾明7591  
☎0265-22-5111・FAX.0265-22-5100

# POWERの限り

## 第2回 遊学祭



十一月二十一、二十二日に行われた文化祭は、一日目はスポーツ大会、二日目は映画鑑賞会という内容でした。一日目のスポーツ大会は天候にも恵まれ、白熱した試合もみられ楽しむことができました。久々に体を動かしたこともあって翌日体が痛かったという人も多かったことでしょうか。二日目はみんなで映画館まで行って鑑賞するというちょっと変わった計画でした。映画の内容も良かったし、特にゴリラのゴリちゃんが強力でした。みんな楽しめた二日間ではなかったでしょうか。

### 南向きの大きな窓

#### 悲喜交々の秋

学校長 林 研二

本校設立の準備段階から数えると、私がお世話様になつてから足かけ六年になる。その間、さまざまなかんじに出会い、そのつど、いろいろな思いを重ねてきたものである。最近のでき事で特に嬉しかったこと、悲しかったことを一つずつ記して本年最後の感想としたい。

ごく最近の総合講座(一年生対象)で、名工大の石井教授の講義をお願いした時のことである。二年生は授業の他、卒業研究に懸命にとりくんでいる最中であり、或るグループが石井先生の講義の題名「ニューラルネットワークの研究」を見て、自分たちの研究の参考にしたいので是非講義をお聴きしたいし、そのあと先生とお話しする時間をとってほしいとの申し入れがあった。石井先生にこの旨をお願いし、ご快諾をいただいたことは言うまでもない。講義の後、約一時間ご指導をいただいたわけであるが、嬉しかったのはその後の先生のご批評である。「この学生は実に研究熱心で素晴らしい若者だ。名工大の学生に話してやりたい。これからもういくらでも応援す

る。」とのお褒めをいただいた。他のグループも頑張つてほしいものである。

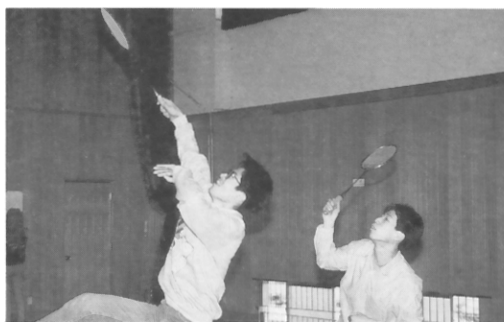
反対に、悲しいことが一つ。人間の悲しみの中で最たるものは人の死である。十一月も半ばを過ぎた或る日、信じられない一報が学校に届いた。昨春卒業した第二期生の大平芳久君が急性心不全で亡くなったというのである。彼は、在学中に第一種情報処理技術者試験に合格する程の俊才で、体格もよく、スポーツもやれば性格も明るく、友人関係も豊かな、本校の誇りとする卒業生の一人であり、就職先の会社でも前途を嘱望された期待の星だったのに、運命のいたずらか、余りにも早く幽明境を異にする事になってしまったのである。遺骸の枕元に、「思わず「生きて帰ってこい大平君」と読んでみたが所詮空しいこと。私共の悲しみもさること乍ら、かけがえない息子をもちとられたご両親のお嘆きは如何ばかりかとお慰めの言葉を知らない。若いうちとはたく健康に無頓着になりがちである。大平君が天から教えてくれている、「自分の命は一つしかない。俺の誤ちをくりかえさないで！」と。心からご冥福を祈る。

# スポーツ大会&映画鑑賞

リードしていてもわりと簡単に逆転されてしまう。それがソフトボール。暴投やトンネル、フライを落とすなどエラーが乱れ飛んでいました。しかし、打つのはみんな燃えていました。



バドミントンは、実力の差がもろに出してしまうんじゃないでしょうか。弱いチームは、けっこう走らされたでしょ。



今年の文化祭は、毎年恒例と言っても、まだ二年目ですがスポーツ大会が行われました。内容も、ソフトボール、バドミントン、そして今年はバスケットボールの三種目を行いました。各種目の試合も、レベルも高く激戦が繰り広げられました。今年のスポーツ大会は出席率も良く、大変良いスポーツ大会だったと思います。

## スポーツ大会の結果

	ソフトボール	バスケットボール	バドミントン	総合	賞金
優勝	2年情報	2年電子	2年電子	2年電子	5,000円
準優勝	1年情報1	2年情報	1年電子	2年情報	3,000円

平均身長では、グンを抜く二年電子が、圧倒的強さを誇り優勝しました。これで担任も卒研を易しくしてくれるでしょう。



今年のスポーツ大会は、例年になく激戦が繰り広げられましたが、上のような結果となりました。今年優勝した二年電子は、去年の文化祭のスポーツ大会も優勝してV2を達成しました。しかし、今年も、試合が白熱したため優勝するのも大変だったと思われまます。又、優勝は出来なかったものの二位、三位になったクラスの皆さん、惜しくも入賞出来なかったクラスの皆さん、御苦労様でした。

# スポーツ大会を終えて

二年電子  
宮下卓也

去る十一月二十一日、第二回文化祭のスポーツ大会が行われました。

我々二年電子は、昨年の文化祭スポーツ大会以来二回あったスポーツ大会を連勝してきており、他のクラスの脅威的になりました。今回も総合優勝し三連覇とクラスが一丸となつていどみました。

今回はバスケットボール、バドミントン、ソフトボールの三種目で行われました。

私はバスケットボールに出場しましたが、当初から強敵としていた二年情報と一戦目にあたりました。試合の結果は大差で勝ち、二戦目も大差で勝ちました。しかし三、四戦と不戦勝となり、優勝となりました。

バドミントンの方も順調に勝ち続けて優勝、ソフトボールも前回は一回も勝てなかったのに今回はみごと三位になり、スポーツ大会三連覇を手に入れました。そして優勝賞金一万円を手に入れました。

今回は怪我人も少なく、よいスポーツ大会だったと思います。

一年情報一組

菅沼雅恵

たった一日しかなかったスポーツ大会で、私はいろんな顔を見ました。進行がスムーズにいよいよ必死の委員の顔、勝つことに意欲を燃やすみんなの顔、生徒の教室とは違った一面を見る先生の顔。みんなスポーツ大会に夢中でした。委員のみなさんが時間をかけて完成させた企画に、みんなで没頭しました。うちのクラスの収入は、ソフトボール準優勝による三千円だけでしたが、最終的に獲得した金額よりも、負けてしまった試合も含めて、それまでのみんなで協力した過程を大切にしたい気がします。今回のスポーツ大会は、みんなの思い出になるでしょうし、一年生が二年生になって運営を任せられたとき、参考になるでしょう。

しかし、今回のスポーツ大会で来年の文化祭成功をなすとげるためにも、どうしてもやらなければならないことがあります。一、ゴミの始末は？ 二、上下ばきの区別は？ 委員のみなさん御苦労様でした。

一年情報二組

神部英和

僕たち一年生は二回目のスポーツ大会でした。

僕はバスケットに出ました。バスケットはおもしろくてなかなか気合の入ったスポーツです。みんな協力してがんばって、バリバリにみんな燃えて燃えつきました。

結果は三位ということで金一封がほしかったけど、小池君もがんばったし、さとし君もがんばったので良かったと思う今日のごろです。

さすがに二年生はうまかったけど、ぼくたちも良くがんばりました。

ソフトのみんなも良くがんばったと思うし、バドミントンのみんなもがんばったと思う。みんな筋肉痛でいたそうだったけれど、でもみんな良くがんばっていたみたいでした。なれているスポーツとはいっても、すごくひさしぶりなのでたいへんでしたが、みんな良くがんばったと思います。

文化祭実行委員長

上原 要

平成三年十一月二十一日、十二日に、飯田コンピュータ専門学校の第二回文化祭が行われました。

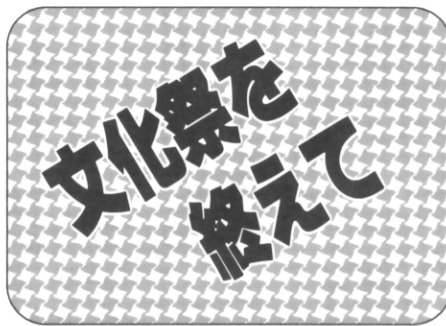
今回の文化祭は二日間であるので、前回とは異なった事を行うつもりだった。昨年は、スポーツ大会と運動会であった為に二日は苦しかった。したがって今年、どちらか片方を採用し、もう片方は別に決める為にアンケートを行った。その結果映画鑑賞が一番多かったので二日目

## 映画

今回の文化祭の二日目は、午前中映画鑑賞が行われました。文化祭の中で映画を見ると言事は、学校では初めての計画でした。この計画も初めてにしては出席率がとても良かったです。

さて、映画の名前はドク・ハリウッドと言います、マイケル・J・フォックスが医者に扮して活躍すると言う物語でした。

ある都会の病院に勤める医者が、ロサンゼルスにある給料の良い整形外科へ面接を受けに行く所から始まり、ロサンゼルスへ行く間の出来事を映画にした話で、大変面白い映画でした。



は映画鑑賞を行うことにした。一日目の体育祭の種目についてもアンケート結果上位三位までとし、各クラスで対戦し勝敗を競った。

二日目の映画鑑賞は、初めフィルムを借りて上映する予定だったが、最後は映画館へ行くことになった。

今年の文化祭を終えて体育祭はどのクラスも強かったが、結果は昨年同様優勝した二年電子が優勝し終わった。各クラス共に出席率が良く、乱闘もなく、多少の怪我はあったものの大きな事故もなくとても良かったと思います。

二日目の映画鑑賞も空席はあった物の、思った以上出席率が良かったと思います。やはり、アンケートを行なった事が良かったのではないかと思います。二日間、御苦労様でした。

体育祭実行委員長  
増田 明

今回の文化祭の中で、スポーツ大会が開かれたわけですが、春の体育祭に比べ全てのことにおいて良かったと思われま

まず、一年生の前回以上の団結は当然のこととはいえ、全種目に見ることが出来ました。二年生も勿論、皆で楽しめたことでしょう。

文化祭実行委員の人達の準備方法により、例年に見られないほどの出席率だったと聞きます。

数少ない、自治会行事の中で中心となるべき文化祭で、スポーツ大会が計画されることがあるかもしれないが、是非、実行も計画も今回以上のものとしていたいただきたいものです。進行上滞りなく終了することができなによりですが、それ以上に全生徒が楽しく競技を行えたことが嬉しかった。



## 五周年記念講演 「アイデアで人生を楽しむ」

十一月二十二日午後一時半からシルクホテルで社団法人法明学会の中野勝征先生に講演をしていただきました。要旨は次のとおり。

特許をとるような発想は誰にでもやればできるのである。難しく考えて、やりもしないうちから心を閉鎖的にしてしまわないように。それは、特別難しい発想ではなく、普段の生活の中にたくさんヒントがある。例えば、車のカギをつけたままドアを締めてしまう。こんな失敗をなくするために、名刺大のカード形キーにして持ち歩きを楽にしたいという発想が生まれる。こんなふうに身近にある不自由な点を改善することが特許をとれる発想につながる。

だからといって、たった一つの発想で特許がとれるわけではない。特許がとれるような発想をするためにはいくつもの発想がある。「せんみつ」という言葉がある。千考えてやると三つの考えが使えるというのである。すなわち、量が質を決定する。失敗してもいいからアイデアを楽しむ、考えることが好きからアイデアの世界に入り込むようにする。



現在、知的生産の時代である。会社が欲しがっている人材は、与えられた仕事しかできない人ではなく、アイデアを出す人、考える人材である。

では、どうすれば特許をとれるような発想ができるのであろうか。ここで、「きへん」の字を思い浮かべてみる。その時にただなんとなく考えるのではなく、「桜」という字が浮かんだら他に春に咲く花で「きへん」のものはないか、と考えるようにする。発想を点と考えるのではなく、点を点とつながって関連づけて考えればより多くの発想が生まれる。

事である。まず一つめは、逆発想——発想の転換——である。人には固定観念というものがあつて、それをとりはらい切り口を変えてみることによって新しい発想が生まれる。例えば、下にあるものを上へ、左にあるものを右へ、自分の見方ではなく、お客さんや先生の方から見てみる。二つめは、発想の引用である。何もないところから特許がとれるような発想ができるのではない。いいアイデアはほとんど学び、自分だったらこうするとかえ、自分なりの工夫をする。三つめは、形状の変更。色彩の変更である。例えば、柄のないうちわやハート形のとうふのように元からあつたものとは違った形・色はどうかと考える。四つめは、結合の発想である。ネームペン・シャープ・パンチキスのようにもともとバラバラであつた物をくっつけて前よりも効率がよくなるように工夫してみよう。このような発想と工夫の成果が特許につながる。特許の世界は夢と希望の世界である。

## 訂正

七月十九日発行のUP-LE第十一号で間違い等がありまして、訂正とおわびをしたいと思います。

まず、一ページで校長先生に書いていただいた「南向きの大きな窓」の中で、文節がまるまる一個抜けてしまい、前後の文がつかなくなってしまう。また、5ページの検定試験合格者の欄で、日商簿記検定試験の四級に合格者の名前が掲載されていませんでした。最後に、六ページの就職前線では、

## 五周年記念式典

講演会終了後、田中市長をはじめ、地域の行政、産業、教育、各界の代表の方々の御列席を賜り、五周年記念式典が行われました。



御列席いただいた方々より、温かいご支援のお言葉と厳しいご注文を賜り、今まで以上に身をひきしめて学校運営に努めていかなければならないことを痛感しました。

グラフの見出しが「平成3年度卒業生」となっていました。が、「平成2年度卒業生」の間違ひでした。

関係者の方、読んでくださつたみなさんにご迷惑をおかけして本当に申し訳ございませんでした。今後、この様なことがないよう十分注意したいと思ひます。

なお、検定試験合格者のうち簿記検定試験四級合格者、「南向きの大きな窓」につきましても一度掲載させていただきます。

## 日商簿記検定試験四級 (一年情報一組)

菅沼 雅恵

## 住み心地

学校長 林 研二

マスターベイションかもしれないが、飯田は住み心地の良いところだと思つている。たまたま東京の雑踏の中に入つてみると、せかせかと歩く大勢の人々が一体何の用事で出歩いているのかと、自分のことは棚に上げて不思議に思ふのは私だけであろうか。年のせいもあると思うが、東京に住みたいと思えないのは既に生存競争の敗北者ということになるのかもしれない。

しかし、必ずしもそうばかりとは言えないようだ。即ち、ある若手実業家は、「飯田は住み良いところ、ソフトの仕事をするのにはもつてこいの環境だ。東京は住むところではなく、遊びに行くところ。」と割り切つて東京からお見えになる先生は、「飯田は自然が豊かで空気が綺麗。水がうまい。火山の危険はないのに温泉が出る。中南アルプスに囲まれて台風の直撃はめつたにない。気候は温暖だがスキー場も近くにある。その上、人情こまやかで申し分のない土地柄だが、一つ難点は東京とのタイムディスタンスが長いことだ。東名と中央自動車道を短時間で結ぶ道路の早期開通、リニア新幹線の飯田駅の実現に向けて地域を挙げて頑張つて欲しい。」と語っておられる。また、セカンドハウスをどこに造りたいかというアンケート調査の結果、東京の人は断然トップが信州、名古屋でも第二位に長野県をあげる数字がでているのである。

このように、自惚れのみでなく、自他ともに認める住み心地の佳い我が郷土に、公害や自然破壊のないソフト産業が栄え、若者が溢れる活気に充ちた街になる日を夢みて、学生諸君共々、一日一日を大切に勉学に励みたいものである。



# 電子情報工学科

小室 正君  
橋爪 寛君

## 二種に合格

### 全員で八名合格

十二月十日付で、十月二十日に行われた情報処理技術者試験の二種の合格者が発表された。本校では、電子情報工学科より二名、情報処理工学科より六名の合計八名の学生が合格した。特にこの中で、この春電子情報工学科に入学した小室 正君は、半年間という短い学習期間ながら合格した八名の学生は、本校に入学して以来、自分の力で問題を解き、お互い教え合いながら今回の試験に挑戦し、その努力が実った。

合格した八名の学生は、本校に入学して以来、自分の力で問題を解き、お互い教え合いながら今回の試験に挑戦し、その努力が実った。

## 文化祭を終えて

### 自治会報告

自治会長

松村 光基

十一月二十一・二十二日と二日間に行われた秋の文化祭は、例年より出席率が高く、内容が充実していたと思います。二十一日のスポーツ大会では、例年より試合数が増え、生徒達を飽きさせないように、もしくはさぼる暇をあたえないように休憩時間や試合時間をきめ細かくしてありましたし、二十二日の映画鑑賞では、クラスごとの座席の割り当てや時間厳守がしつ

かりしていて良かったと思います。今年で、学校創立五周年目になるにあたって、この文化祭を良くしてくれた事をうれしく思います。今週、クリスマスパーティーがあります。例年よりもっとよりよいものにしてほしいと思います。最後に、文化祭実行委員のみなさん及び文化祭に関わった委員、先生方に、文化祭がよりよいものに来た事を感謝して終わります。

## 各種試験合格者発表

### 情報処理技術者試験

#### 二種

(二年電子)  
橋爪 寛

(二年情報)  
植松 一成

篠田 克己  
福住 幸生

(一年電気)  
小室 正

情報処理技術者能力検定試験

プログラム二級  
(二年情報)  
元島 英之

コンピュータ三級  
(一年情報一組)  
林 裕一

(一年情報二組)  
木下 宜幸  
菅沼 治子  
柳生 孝幸

(二年OA)  
柏原 恭子

情報処理能力認定試験

A級  
(二年電子)  
片桐 裕章

(二年情報)  
植松 一成

佐々木健司

篠田 克己  
筒井 文彦  
福住 幸生

B級  
(二年電子)  
植松 一成

(二年情報)  
松村 光基

### 四級 (一年情報二組) 伊藤江利子 菅沼 治子 吉沢 紀代美

(二年OA)  
飯野 広久  
矢沢 潤一  
小澤 貴

(二年情報)  
下平 京子  
島岡 正司

日商簿記検定試験

二級  
(二年情報)  
赤羽裕美子  
片桐 知美  
山崎亜矢子

ビジネス文書検定試験  
三級  
(二年OA)  
ワープロ検定試験

二級  
(二年OA)  
木下 宜幸  
菅沼 治子  
柳生 孝幸

(一年情報一組)  
下平 美保  
深谷 久美

(一年情報二組)  
熊谷比佐代  
菅沼 治子  
那須野健一

(二年情報)  
岡庭 敏一  
中島 高広

(二年OA)  
片桐 由香

## 平成四年度 推薦入試行なわれる

十二月七日に平成四年度入学希望者の推薦入試が行われました。

今年はいくつかの学生が殺到し、午前と午後の二回に分けて行われ、午前三十三名、午後三十八名の合わせて七十一名が受験しました。

試験ははじめにコンピュータに対する適性試験、続いて面接試験が行われ、受験生は緊張した面持ちで真剣に問題に取り組みました。

試験の結果は十二月十三日に発表され、同日各受験生に郵送される。

今後、十二月十四日に第一回目的一般入試が行われ、一月二十五日に第二回目の一般入試を行う予定です。



# 平成3年 就職状況

## = 内定企業一覧表 =

(株) 平和時計製作所	輝山会記念病院	住金制御エンジニアリング(株)
オムロン飯田(株)	飯田衛生施設組合	セコム(株)
(株) 中部コア飯田事業所	(助) 中部公衆医学研究所	(株) 富士電機
(有) 三笠エンジニアリング	(株) マツザワ	(株) 綿藤
T V - 4	旭松食品(株)	中信電機(株)
(株) コアデジタル	(株) 綿半建材工業	ワールド証券(株)
(株) システムコア	(株) 原鉄	(株) シマダ設備
エトナ(株)	メルクス(株)	信州飯田農協
綿半鋼機(株)	長野原機器(株)	(株) マルタ
炭平コンピューター(株)	シーケーデーエンジニアリング(株)	長野リコー(株)
(株) O E S	(株) 中部コア	(株) 東洋
インターフェイス(株)	(株) ジャステック	東陽興業(株)
コンパック(株)	長野日本電産(株)	(株) トリイ
(株) W A K O	日本ハイコム(株)	阿南町消防組合
ロジテック(株)	(株) メイテック松本事業所	綿半緑化(株)
日本アドバンステクノロジー(株)	(株) 飯島セラミック	八十二銀行
(株) メイテック	オリンパス光学工業(株)	(株) 南信精機製作所
飯田市役所	横河アイエムテ(株)	タカノ(株)
盟和産業(株)	(株) 東洋エクステリア	K O A (株)
(株) リアルシステムエンジニアリング	蓼科観光開発(株)	セイコーエプソン(株)
ユニバーサルソフトウェア(株)	(株) 信栄	ルビコン(株)
吉川建設(株)	(株) ヤマウラ	西武建工(株)
高森町役場	パスカリア(株)	木更津信用金庫

### 就職活動をふり返って

二年電子 久保田 啓治

最初、就職は地元にと決めていました。地元であれば友人も多いし、生活も楽であろうと考えたからです。

安定して知名度もある会社を三つほど選びました。早速、第一志望であった会社を訪問し、約一ヶ月後に採用試験を受けました。会社から通知が来たのは七月の中旬位で、結果には不採用というものでした。すんなり採用と考えていただけに、この結果はショックでした。

そのことから就職という事にもっと真剣に考えるようになりました。どんな会社でどんな仕事をしたいのかを深く考えていくと、「仕事とは？人生とは？」という疑問にぶつかってしまっ

た。自分の人生観なんて全く初めて考える事だったし、それだけ今までも何も考えずに過ごして来てしまったんだと思います。この時、自分なりに考えたことは、精神的、経済的に自立しようという事でした。地元から出て自分の力で生活してみるのです。このように自分の考えが決まり、又、良い会社を紹介してもらった事もある、満足

のできる就職ができました。失

### 就職活動を終えて

二年情報 尾 曾 祐 子

二十六歳の私にとって、今回の就職活動は、決して甘いものではありませんでした。我が道を行くとばかり会社を辞め学校へ入学し……とつっぱしって来た私も就職活動中は、本当にこれで良かったのかとずいぶん弱気になったものです。

なぜこんな苦労までして、プログラマーをわざわざ直そうと思ったのか。それには幾つかの要因がありますが、根底となるものは、もともと私は何か技術をもちたいと思いつつ両親と意見が合わず、「えいっどうにでもなれっ」と感じて進路を決めてきたことに少し後悔していることです。しかし、その仕事先でコンピューター(端末)と出逢い、自分の関与するシステムもだいぶ理解した頃には、使う側として、端末処理について要

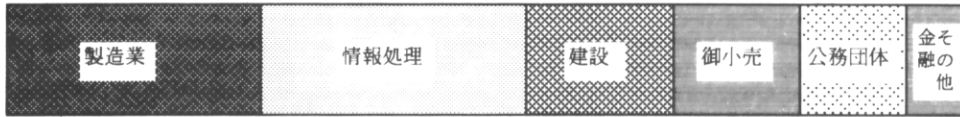
敗や悩んだことが自分にはよかったです。先生方には大変お世話になりました。悩みを聞いてくれた友人にも感謝しています。本当に納得できる就職ができて良かったです。

望や提案を、しばしば本社の電算部門へ出す様になりました。そうしているうちに、自分がプログラマーまたはS・Eとして、アイデアを練る仕事が出来たという気持ちが膨らんでいったのです。これらの要因があったので、これからの要因がなくて学校へ入学を決意したものでかなり迷いました。しかし、今度はいい意味で「自分の人生、どうにでもなれっ」と開き直り、今日に至ったのです。

なんとか希望通り地元でプログラマーという職種で就職が内定し、ほっとしていますが、私のこの選択が良かったのか、悪かったのか判るのは、まだまだ先の様です。



就職先企業の業種別分類

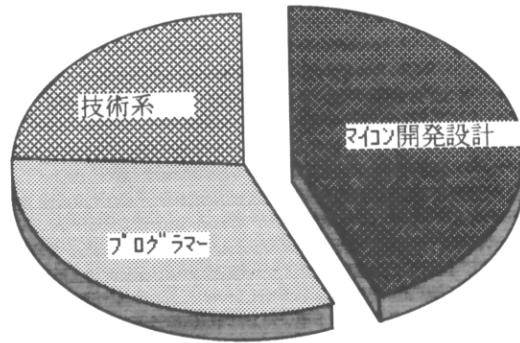


就職先の地域別分類

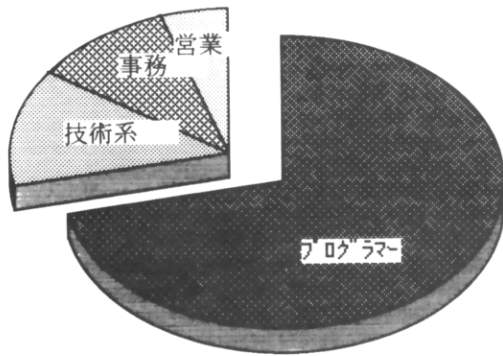


名古屋方面

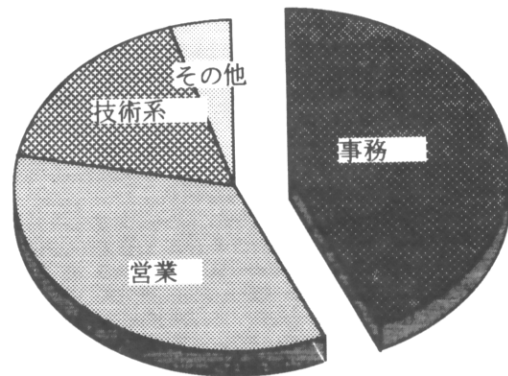
電子情報工学科



情報処理工学科  
情報処理コース



情報処理工学科  
OAビジネスコース



## 就職状況

### 進路指導室

既に二三八名の卒業生を送り、新たに四期生九一名の就職先も全員内定した。

就職先の職種は、電子情報がマイコン設計等ハードウェア技術が要求される部門が多く、情報処理コースはソフトウェアのプログラマー中心、OAビジネスが事務系中心になっており、

## 就職戦々をへて

二年OA

鎌倉和博

設置学科の方針にも沿っていると思う。  
県外二十名のうち飯田に事業所があり、数年内に飯田へ戻る予定の学生は一四名で、最終的に県内定着は九一名中八五名で九三、四%になる見込みである。  
幸い好景気に恵まれて、順調に職が決定したが、真価が問われるのはこれからである。

私は、就職活動を五月の初旬から始め、私のような資格を余り取っていない者は先手必勝であると思っただけであり、速行動にうつつた。まず企業ガイドを引っぱり出し、家から通える範囲・資本金・知名度・安定感のある会社を三、四社ほど挙げ、その中から二社を絞り、会社訪問したり企業説明会などにも出ました。二社のうち一社からは「当社に来てくれないか」と言ってくださり嬉しい反面、A社よりもR社から言っただけでよかった。就職は難しいものだなと実感しました。しかし就職とは行動力と先手を取ったほうが勝ちであるということではないか、な

# HOTLINE

## マイコン試験を受けて

二年電子 篠田 訓一

マイコン試験についての記事を書いて欲しいと頼まれた時、まず最初に思ったことは、私にとってこの試験は何だったのか、そもそも、なんとなくという気持ちで入ったこの学校を、なぜやめずに続けることができたのかというところである。

私は、小さい頃から勉強が嫌いだ。中学生の頃は、平気で授業をさぼり、よく先生に怒られた。高校に入ってもあまり変わらず、ただ毎日が楽しくなければいいと考えていた。そうして

## 伝言板

- 12/26~1/8 冬休み
- 1/4~ アメリカ旅行
- 1/5~1/7 スキー教室
- 1/21 卒研発表(OA)
- 1/25 一般入試
- ペン字検定
- 1/28 卒研発表(情報)
- 2/4 卒研発表(電子)
- 2/9 情報処理検定
- 2/26~2/28 卒業試験(2年生)
- 3/9~3/12 後期試験(1年生)
- 3/13 卒業式
- 3/23 進級発表
- 3/24~ 春休み

文の中に自分らしき、自分としての生き方を表せといわれた。その先生からの課題は、私にとって難問だった。なぜなら、それまで私は、自分としての生き方なんて考えたことがなかったからである。そして、その時改めて、自分の過去を振り返った時、生きた自分の存在がないことに気がついた。自分が見えず、自分らしさが見つからなかつたことが妙にむなしく、さみしかった。

今、考えると、その頃から生きた自分が少しずつ見え始めたような気がする。別に生活が変わったわけでもなく、平凡な毎日だが、常に自分を考え、人として男として求めてきた物がどこか心の支えとなって、今の私をつくり、この学校での自分を生みだしているような気がする。

マイコン試験に対しても、根本的には同じだと思う。授業や勉強、日々の生活まで嫌になり、全てから逃げだしたくなつたこともあった。しかし、そんな時にこそ、自分の生き方が、心のどこかで私を励ましてくれていたように思える。

これからも、つらいことや悲しいことがたくさんあるだろう。そんな時、私は、私の生き方と共に自分の信じた道を歩いていきたい。

# コンピュータミニ辞典

## ファームウェア

ファームウェアは、従来ハードウェア回路で実行していた機械語レベルの命令をマイクロ命令で実行したり(ハードウェアのファームウェア化)、ソフトウェアで実行していたソフトウェアを実行していたプログラム、つまり、マイクロプログラムで実行したりします(ソフトウェアのファームウェア化)。

ハードウェアをファームウェア化すると、回路部品を大幅に減らすことができるので、本来なら数十万個の部品を要するのに数万個で間に合うことができるようになります。だから、それだけ安くコンピュータを作りあげることができ、小型化にも貢献します。また、部品点数が少なくなればそれに応じてハードウェアの信頼性も高まり、故障も少なくなります。さらに、1個の機械命令をマイクロプログラムで作成することができるので、それに対応するマイクロプログラムを追加するだけで、ハードウェアに手を加えることなく、命令を増やしたり、変更したりすることができ、つまり、ハードウェア機能の拡張が容易に実現できます。

一方、制御プログラムやコンパイラなどのソフトウェアをファームウェア化すると、従来のソフトウェアよりも一段と実行速度が速くなるので処理効率が高まります。それに、マイクロプログラムの追加や変更が自在なので、新しい機能を追加したり、旧来の機能を改善したりが容易にかつ経済的に行うことができます。これによって、システムの柔軟性や拡張性が確保でき、現在のよう環境が激しく変化し、それによってシステムに対する要求や期待などが絶えず動いている状況では、拡張性や柔軟性はきわめて重要な要件です。

現代のコンピュータにとって、ファームウェアは実に重要な貢献をしているのであり、コンピュータの普及拡大の陰の主役といっても過言ではないであろう。

## 編集後記

今回のUP-LEはページによって記事の量が足りなかつたり、多すぎたりと最初の計画が甘かつたので苦労してしまいました。また、前回の反省を全く無視してまたもやあたふたしてしまいました。とんでもなく短い期間で原稿を書いて下さったみなさん、ありがとうございました。今回の編集でも、自分の文才のなさにあきれ、ただただ記事を書いて下さった方々の文章に感心するのみです。

文化祭も終わり、二年のみなさんは卒研に打ち込んでいることでしょう。しかし、十一月も終わりがかけている今、自分の分もほとんどできていないのに、編集後記の記事に頭を悩ませている私です。そういえば、高校の頃、冬休みという今年の大変な課題が出ました。十個みつけるのがなかなか大変だったり、十個に絞るのが大変だったり、と結構苦労したのを覚えています。さて、みなさんの今年の十大(重大)ニュースは何でしょうか？